

平成29年度 東京都立大島海洋国際高等学校 学校経営報告

東京都立大島海洋国際高等学校長 山寺 佳幸

1 今年度の取組と自己評価

(1) 教育活動への取組と自己評価

≪校訓≫ 「誠実 Faithfulness 礼節 Courtesy 協力 Cooperation」 ≪教育目標≫ 「海を通して世界を知る」体験重視の国際教育・海洋教育により、21世紀の課題を発見・探求し、これに貢献する高い志をもつ人材を育成するとともに、国際社会に通用する優れたコミュニケーション能力、良識、学力、逞しさを持つ自律的な国際人を育成する。 ≪重点育成項目≫ 1 進路実現と進路希望をより高いレベルで実現する学力を育成する 2 グローバル社会への適応力を育成する 3 豊かな心と逞しい体を育む 4 自律性と協調性を育む

≪数値目標に対する結果≫

目 標 内 容	数 値 目 標	達 成 度
進路決定率	現役の進路決定率 100%以上	進路(進学)先決定率 97.4% (※国公立大学等合格者 6名)
英語 TOEIC BRIGE テスト	110点以上 30名	66名
学校・ドミトリにおける講習	200時間以上	500時間
生徒の学習満足度(基礎基本理解)	80%	82.4%
1級小型船舶操縦士資格合格率	90%以上	97.5% (39/40名合格)
年間延べ遅刻回数	150回以下	127回
保護者の満足度	80%以上	94.8%
部活動加入率	95%以上	89.8%
学校説明会・寄宿舎見学会の参加者	400人以上	220人
広報活動(中学校訪問・私塾訪問)	200校	120校
学校ホームページの更新回数	100回以上	340回
入試倍率	1.25倍以上	推薦2.33倍、一般1.02倍

(2) 取組状況

ア 進路指導：生徒一人一人の進路実現を図る

- ① 学習ガイダンス・進路ガイダンス週間による生徒の意識調査の実施と、進路だより、進路手引きの発行、進路講演会等の充実を図った。
- ② 資格取得試験・模擬試験・進路講演会等の実施
検定合格者は、漢字検定2級合格者1名、準2級8名、英語検定準1級1名、英語検定2級1名、準2級12名。外部模試を18回実施、進路講演会を7回実施した。
- ③ 宅習・家庭学習の効果的学習体制の構築
ドミトリにおける宅習時間45分の3回の改善に努めた結果、優秀者178名(H28は117名)となった。
- ④ 宅習時間を活用した講習・補講の実施
進路実現に向けた学校(放課後)や寄宿舎での講習会を実施し、生徒の学習意欲が高まった。
- ⑤ A0入試、推薦入試、面接、小論文等専門分野に対する指導
A0入試における対策指導や小論文指導の一層の充実を図った。
- ⑥ 東京海洋大学、首都大学東京、東海大学海洋学部との高大連携事業の実施
東京海洋大学と東海大学への夏季集中講座の参加者を募り、上級学校への進学意識を高めた。また、9月に本校を会場とし首都大学東京の生物に関する講義や、2名の教員志望の学生を受入れインターンシップを実施した。

イ 学力向上プランの推進と上級学校進学に向けた学力の育成

- ① 教科別学力向上推進プランの作成と学力を高める質の高い授業の実施
教員相互の授業参観を通し、互いの授業改善、学力向上推進計画に基づく生徒理解、学力向上に努めた。
 - ② 学習サイクル、授業改善サイクル、学習指導サイクルと学力向上推進プランの実行
学習サイクル（予習→授業→復習→確認テスト→フォローアップ）を実行し定着に努めた。
 - ③ 教科における指導内容の確認と習熟度別授業、少人数制授業の活用
習熟度別及び少人数制授業は、学力差のある生徒一人一人に学ぶ意欲と学力向上に効果があった。
 - ④ 上級学校進学に対応できる年間指導計画、週ごとの指導計画に基づく教育課程の適正な管理
年間を通じて、行事等で授業数の過不足がないよう授業数を確保できた。
 - ⑤ 言語教育活動の推進
図書貸出数の増加、読書に親しむ生徒を目指して、各教科での言語活動を高める取組を実施した。
- ウ 21世紀国際社会の課題探求とこれに挑戦する志をもつ中核的人材の育成
- ① キャリア教育の実施
キャリア教育全体計画に基づき、海洋を素材とした学校教育に成果があった。
 - ② 総合的な学習の時間の実施
国際社会の課題探求と自己理解・将来設計をテーマに課題研究の選択や進路決定に結びつけた。
- エ 規範意識、社会性、安心・安全を基盤とした人権意識を持つ生徒の育成
- ① あいさつ・遅刻・服装・装飾品・頭髪などの組織的な指導を実施
あいさつは地域からも評価が高い。服装・装飾品・頭髪での問題は無い。遅刻回数は昨年よりも若干増加した。細やかな生活指導、健全育成の醸成に成果があった。
 - ② 全教職員による授業規律の徹底
生活指導部を中心に日常的な授業規律を確立し、授業における生徒の主体的な取り組みがみられた。
 - ③ 生徒会活動及び部活動の活性化
部活動加入率は90%、端艇部は全国大会準優勝、セーリング部は全国大会入賞。潜水部は全日本高等学校大会女子個人（400mフリッパー）優勝を収めた。
 - ⑦ 保護者や地域との連携の推進
担任、専任舎監との三者面談を実施。保護者との連絡を密にするように努めた。また、寄宿舎からも適宜保護者へ連絡をした。専門教科「国際」、科目「日本文化」では、地域伝統芸能伝承者による御神火太鼓、地域の地踊り指導を受け地域盆踊りに参加した。また、地域清掃活動等を行った。
 - ⑧ 学校保健計画に基づく学校保健活動の実施
計画的に保健活動を実施し、インフルエンザ等の予防に努めた。
 - ⑨ 学校安全マニュアルに基づく危機管理体制と危険予知能力の育成
校内研修会の実施、寄宿舎における防犯訓練、宿泊防災訓練を実施した。5月13日の「安全指導の日」に全校集会を実施し、命を大切にする指導をした。
- オ ドミトリにおける自律的生活習慣の醸成
- ① 「あいさつ・時間厳守・清掃・整頓・学習」を中心とした自律的生活の実施
生徒自らが、あいさつをする姿勢が地域から高く評価されている。生活指導部と各学年が一体となり地道な生徒指導により、時間厳守、清掃について成果があった。
 - ② 生徒代表（プリーフェクト）の育成
生徒の自律的生活習慣を支援する生徒代表（プリーフェクト）の育成を継続していく。
 - ③ 棟別会議等生徒組織など生徒自らが運営する自律的組織の活用
ハウスマスターによる各委員会への指導・助言等を行い、寄宿舎運営を推進する。
 - ④ ハウスマスターによる定期的な個別面接・健康面接の実施
個別面接や生活に関する特別面接、日常の健康面接等、きめ細かな指導を実施した。また、委員会を通して生徒がより快適に生活できる環境づくりを推進した。
 - ⑤ 地域への「月1回ボランティア」「地域活動」の参加
寄宿舎生が定期的なボランティア活動を行い、地域に貢献した。
 - ⑥ 感染症予防等による保健衛生意識の向上と安心・安全な生活ができる環境づくりの推進
徹底した予防指導と日常的な衛生意識の醸成に努め、心身ともに健康的な環境づくりに努めた。
- カ 体験的国際教育による課題意識の育成、日本文化を育む力を推進
- ① 国際社会と海・船に関する学習、シーマンシップの育成

1年生の基礎航海学習では、洋上生活の基礎基本の指導とシーマンシップの育成を図った。

2・3年生の航海学習は国際系、海洋系共に国内航海を実施した。2年生の国際系は大阪、海洋系は沖縄、小笠原への航海を実施した。3年生の観測航海学習は中止とし、「みはら」による東京湾沿岸海域の航海実習を実施した。

- ② 専門教科「国際」科目「日本文化」の全員履修、日本文化の発信力の醸成
「Welcome to Tokyo」を1学年Reading、2学年「国際理解」の授業で活用し、日本文化の発信力を養った。
- ③ 教科「外国語（英語）」における4技能の育成
様々な英語力を持つ生徒に対し、丁寧な教科指導を継続するとともに、コミュニケーションツールとしての英語を活用する企画を立案した。
- ④ 2学年国際系における海外体験学習プログラムの実施
3月末にサイパンで3泊のホームステイ、姉妹校サザンハイスクールとの国際交流を実施した。

キ 広報活動の充実と地域連携

- ① 学校HPで教育活動を適宜発信
学校HPの更新回数目標値の100回以上を上回る情報を発信した。入試倍率は推薦2.33倍、一般1.02倍となり、一定の成果があった。
- ② 中学校、私塾訪問による本校の教育内容とドミトリの周知
本校の特色ある教育活動や寄宿舎生活等を理解してもらうために、生徒、教職員による学校訪問を実施した。その結果、入学意欲の高い生徒の応募が多くあった。
- ③ 図書館の地域開放と学校開放事業の充実、地域貢献活動の推進
図書館、体育館、トレーニング室、テニスコートを開放し、定期的な地域清掃、部活動による清掃活動等で地域に貢献した。更に日本文化における太鼓、踊り指導は地域の伝統芸能伝承者の指導を受けることができた。

2 今年度の成果と次年度の取組

(1) 学力・授業力向上

【成果】・学習サイクルの確実な実施と学力向上推進プランの実施、学力スタンダードの実施

【取組】・学習サイクルの継続と徹底。寄宿舎での宅習45分×3回の効果的な指導の確立
・授業改善の工夫

(2) 進路指導・キャリア教育の充実と生徒の進路実現

【成果】・3年間を見通した進路指導の実施とキャリア教育の拡大実施

【取組】・進路指導・キャリア教育部と各学年との連携と役割分担の明確化

・学習・進路ガイダンスでの生徒理解と生徒情報の共通理解、進路実現に向けた個別指導の継続

(3) 安心・安全を基にした自律的な生活の確立

【成果】・ドミトリを含む学校生活全般における基本的な生活習慣の確立、人権尊重の精神の育成

【取組】・プリーフェクトの育成と生徒の自律意識の育成

・全校集会、寄宿舎指導での人権尊重教育の講話指導の実施

・ドミトリと学校との情報共有と、スクールカウンセラーの活用

(4) 危機管理の徹底

【成果】・安心・安全を念頭に置いた危機管理の徹底

【取組】・保護者や生徒の立場に立った危機管理の共通理解と意識の徹底

・安心・安全な学校づくりの継続

・個人情報管理の徹底

(5) 広報活動の取組

【成果】・応募者数の安定化の実現

【取組】・学校ホームページの適宜更新と組織的広報活動の継続